

議会だより

<https://www.town.kawamata.lg.jp/site/gikai/>



4月6日 福田小学校の新1年生

3月議会報告

(令和3年度当初予算).....	2~5
予算審査委員会報告.....	6~7
議決一覧・陳情結果・意見書等.....	8~9
議会改革特別委員会.....	10
全員協議会レポート.....	11
令和3年第1回臨時会ほか.....	12
一般質問.....	13~21
町民の声・編集後記.....	22

令和3年 **5**月1日 発行

予算は“骨格予算”

一般会計66億8100万円を可決

藤原一二町長の初議会を慎重審議

令和3年度の予算を審議する3月定例会が、3月9日から19日までの14日間の会期で開催されました。

2月に執行された町長選挙の結果を受けて、藤原新町長のもと当初予算が組みなおされ、経常的経費と緊急を要する一部政策的経費のみを計上する通称「骨格予算」として当初予算が提案され可決成立しました。

藤原新町長の公約等に基づく政策的予算である通称「肉付け予算」は、4月以降、補正予算として再度、提案されます。（※肉付け予算の審議結果は後日、お知らせします。）

令和3年度「骨格」予算の主な事業

川俣町体育館の災害復旧

地震で被害を受けた体育館の屋根等を復旧する
工事費



破損したトレーニング室のガラスと屋根

291 万円

新型コロナワクチン接種

ワクチンを16歳以上の全町民に接種するための
事業費



9357 万円



オンライン診療の実証事業

遠隔診療を行う医療機関を増やすための実証事業



済生会病院から町内医院に拡大（写真はイメージ）

829万円

高齢者世帯のごみ出し安否確認

一人暮らしなど高齢者のごみ出し支援と安否確認をする事業



79万円

知育絵本の配布

在宅で過ごすことの多くなった親子を知育絵本で支援する事業



「おてひめさま」がお子さんの名前になる絵本

34万円

イクメン・プレパパ教室

男性の育児参加を支援するための教室

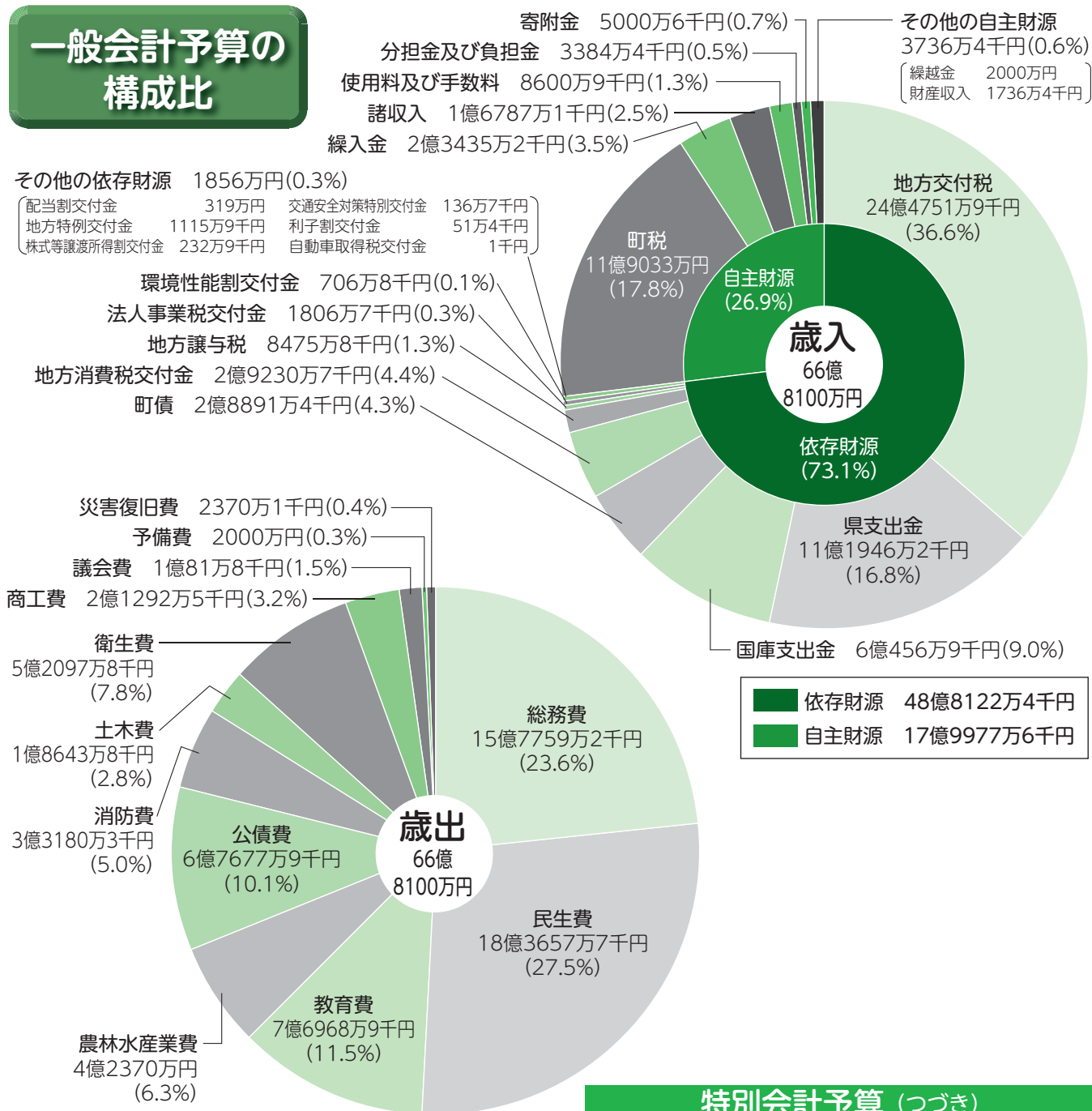


18万円

3月9日、藤原新町長の初議会に大勢の傍聴がありました



一般会計予算の 構成比



特別会計予算

特 別 会 計	予 算 額
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	15億6227万4千円
国民健康保険特別会計 (診療施設勘定)	1433万3千円
介護保険特別会計	20億7863万円
後期高齢者医療特別会計	1億9964万7千円
簡易水道事業特別会計	1153万8千円
奨学資金特別会計	1706万3千円
工業団地造成事業特別会計	1482万2千円

特別会計予算 (つづき)

特 別 会 計	予 算 額
小島財産区特別会計	1242万8千円
飯坂財産区特別会計	1140万7千円
大綱木財産区特別会計	82万8千円
小綱木財産区特別会計	327万3千円
山木屋財産区特別会計	33万5千円

水道事業会計予算

区 分		予 算 額
収益的収入 及び支出	水道事業収益	2億6353万3千円
	水道事業費用	2億5161万2千円
資本的収入 及び支出	資本的収入	3億139万9千円
	資本的支出	4億1565万1千円

当初予算に関する質疑等

一般会計 補正予算

質問

①仮置き場の返還工事費だが、返還できなかった理由は。
②ため池除染の実施件数は。
③延期されている令和2年度成人式はいつやる予定なのか。

(高橋清美議員)

答

①地権者と国・県と協議し条件が整わなかったためです。
②ため池除染は68箇所実施しています。
③5月2日を予定しています。コロナ対策をとりながら実施します。

(生涯学習課長)

質問

成人式ではPCR検査助成は実施しないのか。

(作田善輝議員)

答

今後の動向により検討します。

(生涯学習課長)

質問

①新型コロナウイルス事業者支援の対象を従業員20人以下にした理由は。
②ふるさとづくり寄附金が増額になったが、今後の展開は。

③敬老祝金が130万円も残った理由は。
④地域おこし協力隊の予算がほとんど残った理由は。

(佐藤喜三郎議員)

答

①小規模な事業所は経営の悪化が即廃業につながりやすいことから商工会と協議し、支援対象にしました。

(産業課長)

②返礼品に魅力を感じていただけたと思うので、さらなる充実を図ります。

(企画財政課長)

③対象の高齢者が死去されたことなどによるものです。

(保健福祉課長)

④2人分の予算で、見学はあったものの、コロナ等の都合で就任には至りませんでした。

(産業課長)

その他議案・ 条例の改正等

●議案第5号

辺地に係る総合整備計画の策定

【概要】大綱木一貫田地区、大綱木上台辺地の2箇所を辺地と定め、整備事業に財政措置が受けられる計画を定めるもの。

質問

辺地計画は全部で6箇所になるが、それ以外の辺地(へんびな土地)にどう取り組むのか。

(村上源吉議員)

答

新たに対応できる箇所、事業があれば、財政上有利な計画事業ですのので、前向きに取り組む考えです。

(町長)

●議案第9号

職員の勤務時間等に関する条例の改正

【概要】職員のひと月当たりの超過勤務時間の上限を定めるもの。

質問

規則に定める内容は。

(高橋清美議員)

答

ひと月あたりの超過勤務時間を原則45時間と定めるものです。

(総務課長)

●議案第10号

町長等の給与を定める条例の改正

【概要】選挙公約により、町長の給与を令和3年3月分から13カ月間、20%削減する改正を行うもの。

質問

①選挙公約というが、選挙公報には書かれていない内容で、いつ町民に示したのか。また、なぜ13カ月にしたのか。

(村上源吉議員)

答

選挙活動で町内を回った際、口頭で説明してきました。削減は、感染症が発生して1年になる

ため、そのような期間としました。

(町長)

●議案第13号

地区集会所設置条例の改正

【概要】地区集会所3カ所を追加するための改正

質問

第一分団屯所の名

人事案件

●議案第36号

監査委員の選任

任期満了に伴う人事が提案され、同意しました。任期は、令和3年4月からの4年間です。

●議案第38号

副町長の選任

前任者の猪狩則光氏の退任に伴う人事が提案され、同意しました。任期は、令和3年4月からの4年間です。



澤田由紀子氏
(字鉄炮町)



大江孝治氏
(鶴沢字芦ヶ作)

●議案第37号

固定資産評価委員の選任

任期満了に伴い、再任の人事が提案され、同意しました。

答

9月議会までを目途に検討します。

(総務課長)

称は、「コミュニティ消防センター」のほうがいいのではないかと。

(高橋清美議員)

令和3年度当初予算を (2021年度)

CHECK

3月定例会では、一般会計予算ほか当初予算13件が提案され、委員会で集中的に審議することになっています。委員会の審議の結果、次のような意見が出され報告されました。

総務課

委員会意見

- ① 行事予定カレンダーについては、見やすくなるよう常に改善を図ること。また、新年度スタートに合わせて各戸に配布されるよう努めること。
- ② 消防団員の報酬、消防施設維持費等については、改善が図られてきたところであるが、引き続き、地域の消防防災力が維持されるよう、各分団とよく協議のうえ予算確保に努めること。

企画財政課

委員会意見

- ① 財政調整基金の積立額については、大規模事業等の実施のため増加傾向にあるということであるが、引き続き、適正規模を随時見定め、運用に努めること。
- ② ふるさとづくり寄附金については、年々増加をしており評価する。引き続き、企業版ふるさと納税の検討など、有効な財源として拡充に努めること。
- ③ 東京電力に対する損害賠償は、いまだ約13億円が未払いとなっている。町復興のために支出した重要な財源であるので、実効性のある取り組みに努めること。
- ④ 復興会議運営費は、年2回開催分の予算となっているが、町の復興のため重要な会議であるので、回数にかかわらず十分な審議に努めること。
- ⑤ デマンドタクシーの運行については、利用者アンケート等を実施しているということであるが、一部、不便であるという声も聴くので、引き続き丁寧な聞き取りに努めること。
- ⑥ 各集会所の運営や費用負担等、地域における利用状況等をよく調査のうえ、持続可能な運営について研究すること。

保健福祉課

委員会意見

- ① 高齢者世帯ごみ出し安否確認の事業については、今後、詳細を決定のうえ実施するとのことであるので、有益な事業になるよう努めること。
- ② 高齢化が進む中、健康増進と福祉に対する町民の期待は大きい。引き続き、丁寧な対応と、将来を見越した事業展開に努めること。

▽ 予算決算常任委員会の審議の様子



予算決算常任委員会報告

原子力災害対策課

委員会意見

- ① 震災後10年を経過したが、住民生活の復興は果たされていない。行政区、自治会、民生委員などと連携し、地域資源の現状、実態をよく把握し、住民に寄り添った支援を講じること。
- ② 仮置き場の返還業務の予算については、今後提案される予定であるが、現状回復について、住民の声をよく聴き取り丁寧な対応を図ること。

建設水道課

委員会意見

- ① 災害公営住宅の家賃低減措置が終了になり、家賃が高額になったことで、生活に支障をきたした避難者がある。被災者に寄り添った支援を継続するとともに、町で新たな減免措置を講じること。
- ② 町営住宅の空き家を活用し、定住化に資するよう、子育て支援と住宅支援を組み合わせた施策を検討すること。

会 計 室

委員会意見

- ① 役場共通で使用する封筒は、町のイメージにつながるもので、引き続き、素材、デザイン等、よく検討し、改善を図ること。

生涯学習課

委員会意見

- ① 新たに発掘された前田遺跡や旧代官所跡など、町の歴史と文化、伝統技法等を後世に伝えていけるよう、伝承と人材育成に努めること。

町民税務課
学校教育課
議会事務局

産 業 課
子育て支援課

特になし

ま と め

令和3年度当初予算においては、2月14日に執行された町長選挙の結果を受け、義務的経費と一部政策的経費のみを計上する「骨格予算」として提案された。医療関係者、農商工業者をはじめ町民生活全体が長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、緊急な対応が迫られる予算については、速やかな執行を求める。

また、小学校の統廃合、認定こども園の開設等、予定されていた子育て支援、教育環境整備については、少子高齢化と人口減少対策のため、着実かつ速やかな事業執行を要望する。今後提案される、新町長の政策的経費を計上した「肉付け予算」については、町民生活と町政進展に支障のないよう、速やかな議会招集のうえ審議に付されるよう要望する。

令和3年3月19日

予算決算常任委員会

委員長 佐藤 喜三郎

3 月 議 会 定 例 会 審 議 結 果

(令和3年3月9日～19日)

議 案	件 名	審 議 結 果
第3号	町道北古堂道内・南古堂道内線（1号橋）橋梁災害復旧工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第4号	川俣小学校校舎等改修工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第5号	辺地に係る総合整備計画の策定について	可決（全会一致）
第6号	川俣町附属機関の設置に関する条例	可決（全会一致）
第7号	東京電力福島第一原子力発電所原子力災害に伴う令和3年度川俣町国民健康保険税等の減免の特例に関する条例	可決（全会一致）
第8号	川俣町人材育成基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第9号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第10号	川俣町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第11号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第12号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第13号	川俣町地区集会所設置条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第14号	川俣町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第15号	川俣町農村環境施設設置条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第16号	川俣町町営住宅条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第17号	川俣町公民館使用条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第18号	令和2年度川俣町一般会計補正予算（第11号）	可決（全会一致）
第19号	令和2年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第20号	令和2年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第21号	令和2年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第22号	令和2年度川俣町工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第23号	令和3年度川俣町一般会計予算	可決（全会一致）
第24号	令和3年度川俣町国民健康保険特別会計予算	可決（全会一致）
第25号	令和3年度川俣町介護保険特別会計予算	可決（全会一致）
第26号	令和3年度川俣町後期高齢者医療特別会計予算	可決（全会一致）
第27号	令和3年度川俣町簡易水道事業特別会計予算	可決（全会一致）
第28号	令和3年度川俣町奨学資金特別会計予算	可決（全会一致）
第29号	令和3年度川俣町工業団地造成事業特別会計予算	可決（全会一致）
第30号	令和3年度川俣町小島財産区特別会計予算	可決（全会一致）
第31号	令和3年度川俣町飯坂財産区特別会計予算	可決（全会一致）
第32号	令和3年度川俣町大綱木財産区特別会計予算	可決（全会一致）
第33号	令和3年度川俣町小綱木財産区特別会計予算	可決（全会一致）
第34号	令和3年度川俣町山木屋財産区特別会計予算	可決（全会一致）
第35号	令和3年度川俣町水道事業会計予算	可決（全会一致）
第36号	監査委員の選任について	同意（全会一致）
第37号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全会一致）
第38号	副町長の選任について	同意（全会一致）

● 3月定例会陳情審査結果 ●

受理番号	付託委員会	件名	陳情者住所及び氏名	審査結果
1	総務産業 常任委員会	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を 求める意見書提出の陳情について	福島県伊達市保原町字舟橋180 日本労働組合総連合会福島県連合会 伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	採択
2	厚生文教 常任委員会	保育士の全面パート化につながる短時間 勤務保育士の活用促進ではなく、保育所 職員の配置基準改善、処遇向上のための 必要な措置を求める意見書の提出を求め る陳情書	福島県福島市渡利字大豆塚7 さくら保育園気付 福島県保育連絡会 大宮 勇雄	趣旨 採択

議員提案

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

福島県は、少子高齢化と人口の減少・流出が進み、震災当時と比較して生産年齢人口は約20万人も減少し、人手不足は深刻化している。

人手不足を補うための外国人労働者数も対前年比で約13.6%増加し、障がい者雇用数も県内民間企業で過去最高を更新、パート労働者、契約社員・派遣社員などの非正規労働者は雇用全体の約4割を占め、雇用形態の多様化も進んでいる。勤労意欲喚起による生産性向上と社会の格差是正を目的とした、政府の同一労働同一賃金の趣旨に鑑み、最低賃金引き上げと早期発効は喫緊の政策である。

コロナ感染拡大により、社会経済が混乱し、県民の不安や不満も日増しに強まる一方で、県民の生命と健康を守り、日常生活を支えるため奮闘する働く者がいる。社会経済の回復と安定、働く者の努力に報いることが社会の責任でもあり、極めて必要な時期である。

よって、福島県の一層の発展をはかるため、最低賃金法の趣旨を踏まえ、福島県最低賃金に関する、次の事項について強く要望する。

- 1 福島県最低賃金は、毎年年率3%程度を目途に引き上げをはかること。また2019年6月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針」の「より早期に全国加重平均1000円になることを目指す。」とした方針に基づき、相応の引き上げを行うこと。
- 2 中小・地場企業に対する支援策等を強化し、最低賃金の引き上げを行う環境を整備すること。
- 3 福島県内の労働力確保、人口流失抑制・防止を見据えた金額とすること。
- 4 一般労働者の賃金引き上げ時期を踏まえ、福島県最低賃金の改定諮問時期を可能な限り早め早期の発効に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月19日

衆議院議長 大 島 理 森 様
内閣総理大臣 菅 義 偉 様
厚生労働大臣 田 村 憲 久 様
福島労働局長 岩 瀬 信 也 様

福島県伊達郡川俣町議会

議 会 改 革

調査特別委員会

調 査 事 項

調査計画案を協議

第3回 (R3.2.17)
第5回 (R3.4.8)

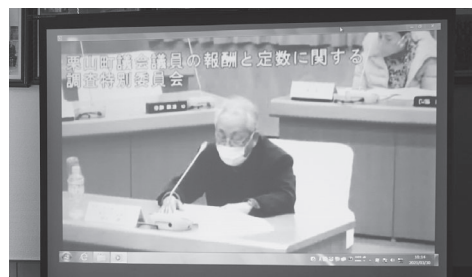
12月議会定例会で特別委員会を設置し、効果的、効率的な議会活動について調査を行っています。
4月15日時点で5回の会議を開催し、調査項目、スケジュールなどについて、協議してきました。
※調査状況等について、議会だよりでお知らせしていきます。

議会活動の課題、 運営上の改善すべき点などについて 協議し、調査項目 を次の大きく4点 とすることにしました。	調査項目(仮) ※この内容で調査し、令和4年6月議会で最終報告します	
	1 議会・議員の役割、あり方	多様な意見、地域の諸課題に対応する議会、議会のあり方とは、など。
	2 議会への住民参画のあり方	町民意見を反映する議会、議員のなり手不足への対策は、など。
	3 議会の機能強化・議会運営の適正化	議会会議規則の見直し、一般質問のあり方、議会のデジタル化等。
	4 議員報酬、議員待遇のあり方	若者や女性など、議員のなり手の確保策は、など。

栗山町議会議員の報酬と定数に関する調査特別委員会
参考人聴取・北海道大学名誉教授 (栗山町議会サポーター)
神原 勝 氏 講演

【講演概要】

- ・議員定数は、ぎりぎりまで削減してきた。議論のためには13人が最低ラインである。
- ・議員報酬は、人口要件など類似団体と比較すべきでない。議員の努力が反映されるしくみが必要。
- ・議員のなり手不足は、住民が議会の大切さに気付けば、必ず解決できる。
- ・首長が一人であるのに対し、議会は多数。住民の代表性が高く、間違いが少ない。
- ・議会、地方自治は、「民主主義の学校」。住民の意識が高まれば、議会の意識も高まる。
- ・議会と住民をつなぐ存在「議会モニター」「政策サポーター」などが効果的。



先駆的な取り組みで有名な北海道栗山町では、議会中継のほか、委員会等を含め、全ての会議を公開しています。栗山町では議員のなり手確保のため、特別委員会を設置して調査にあたっており、当委員会でもその審議内容や大学教授の講演を参考にするため、全議員に参加を呼び掛け視聴しました。

先進議会調査 栗山町議会に学ぶ (録画の視聴)

第3回
(R3.2.17)



全員協議会レポート

令和3年
第3回
(2月16日)

2.13 福島県沖地震被害報告

2月13日、午後11時8分に最大震度6弱の地震が発生し、その被害の報告を受けました。※被害概要は、3月議会定例会までに判明した件数です。

3月定例会では、2人の議員が一般質問でとりあげたほか、全員協議会などで支援を求める意見が出されました。

被害概要

町内世帯等

- ・人的被害 負傷者2名（※2月16日報告時点）
- ・避難状況 なし
- ・住宅等の被害 70件（罹災証明書申請件数）
- ・個人財産その他 30件（被災証明書申請件数）

公共施設等 ※主な被害

- ・施設等 18施設 《主な被害箇所》川俣町体育館、とんやの郷、川俣中学校、富田小学校などで、天井、ガラス、壁面に被害。
- ・道路 町道17路線《主な被害箇所》町道遠西田代線、町道大柴線、林道花塚線ほか
- ・その他 農村広場送水管の漏水、川俣町浄水場でタンク破損



町道光内大畑線



町道大柴線



とんやの郷

令和3年
第4回
(2月22日)

3.11 東日本大震災のつどいは延期へ

町から東日本大震災から10年となる3月11日に、記念式典を町と議会合同で開催する案が示され、協議しました。議員からは様々な意見が出され、結果、令和3年の開催は見送り、来年に開催することとしました。

過去の大会の概要

【平成24年】原発事故被災町民大会 ～川俣町の復興に向けて～

町民の意見発表、決議文を採択。講演「震災復興と自治体の役割」。山木屋中学校生徒の合唱、ガンバロー三唱。町民ほか参加者600人

【平成25年】第2回原発事故被災町民大会

町民の意見発表、決議文採択。講演「震災復興と自治体の役割」。ガンバロー三唱。町民ほか参加者500人

令和3年 第1回議会臨時会

—小規模事業者コロナ支援—

令和3年
2月24日
開催

長引く新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、町内に約400社ある従業員20人以下の小規模事業所に対し、町が独自の資金援助を行うための補正予算と、福島県沖地震で被害を受けた施設等の災害復旧の補正予算などが提案され、可決しました。

小規模事業者のコロナ対策支援の概要

- ・対 象 判定月の前年同月比で、減少率15%以上、従業員（正規雇用）20人以下の事業所（医療、福祉事業所を含む）。
- ・給付額 従業者10人まで一律20万円、11人以上20人まで一律30万円
- ・事業費 8150万円



提案説明をする佐藤前町長

総務産業

常任委員会

厚生文教

常任委員会

活動報告

3月定例会会期中の各常任委員会で、3月12日、次の事項を調査しました。

総務産業常任委員会

【調査事項】 企業訪問

※町内経済動向等調査

【調査先】 ベルグ福島㈱、アサヒ通信㈱の2社

※ほか、陳情書審査



製品を世界に輸出（アサヒ通信株式会社）

厚生文教常任委員会

【調査事項】 福島県沖地震被害調査、生涯学習施設調査

【調査先】 川俣町体育館、羽山の森美術館

※ほか、陳情書審査、ほか3月18日地球温暖化対策実行計画の説明



地震でガラスの割れたトレーニング室 ※現在は修繕され利用可能です

まちの課題を問う

3月議会定例会の一般質問には8人の議員が登壇しました。



村上源吉 議員

16

- 町営のWi-Fi整備について
- 都市計画の見直しについて
- 近大・立命館大・福大との連携で新産業の創出とあるが、その内容は
- 山木屋地区に先端技術産業の実証基地整備について



蓮沼洋志 議員

17

- 藤原町長に問う
- 新型コロナウイルス感染症について
- 中学校のトイレ改修について
- 2.13福島県沖地震について



作田善輝 議員

18

- 新町長の施策方針は
- AED(自動対外式除細動器)の設置実態について
- 住民にきちんと情報提供はされているのか



菅野信一 議員

19

- 藤原町長の公約について
- 第一期川俣まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び第二期総合戦略(案)について



高橋清美 議員

20

- 選挙公約の「5つの約束」の取り組みは
- 原発事故から10年を迎えて今後の復興とまちづくりは
- 今回の地震の被害状況とその対応は
- 川俣町防災会議について



新関善三 議員

21

- 新型コロナウイルス感染対策と支援給付金について
- 少子高齢化対策対応について
- コロナ禍による農畜産品の対応策について
- 「変えよう川俣」の基本的取り組みを質す



山家恵子 議員

22

- 養蚕文化の継承と川俣の教育シルクプランについて
- 東北宇宙ミッションの広報と今後の活用について
- 前田遺跡の取り組みについて
- 生活困窮者支援と「断らない」相談支援について



石河ルイ 議員

23

- コロナウイルス感染症について
- 子育て支援について
- 福島県沖地震被害について
- 高齢者支援について

一

般

質

問

質問席

一般質問



むら かみ げん きち

村上源吉 議員

町長公約の「町営 WiFi整備」は

今後検討していきます

質問

①具体的な計画は。
②財源と費用の見込みはあるのか。

町長

①現在までの整備状況、利用状況、整備方針を明確にし、他市町村事例を参考にしながら進めていきます。
②国の動向などを参考にしながら検討します。

公約「山木屋地区に 先端技術産業」は

協議検討していきます

質問

①どんな先端技術産業なのか。
②具体的なスケジュールの明示を。

③町にのつての経済効果の想定は。

町長

①「福島イノベーション・コースト構想」に掲げられている6分野、「廃炉」「ロボット・ドローン」「医療関連」「エネルギー・環境・リサイクル」「農林水産業」「航空宇宙」を想定しています。
②具体的な案件が生じてから、検討を進めるため、現段階では持ち合わせていません。
③今後検討していきます。

公約「大学との連携で 新産業の創出」は

検討していきます

質問

①どんな新産業を想定しているのか。
②耕作放棄地の歯止めとなる産業とは。

町長

①国・県が進めている浜通り地方に先端産業の集積を目指す「福島イノベーション・コースト構想」を意識しながら、近畿大学、立命館大学、福島大学と連携しながら検討していきます。



町と協定を結んでいる立命館大学
(令和元年委員会調査)

公約の「都市計画の 見直し」は

検討していきます

質問

どんな計画があつて見直すのか。

町長

今後のまちづくり見据え、土地の活用を図るため、地域住民、関係機関と検討していきます。



議会・委員会でも立命館大学を視察

②大学等の知見の活用を図りながら新作物、産業の創出を検討していきます。

まちの課題を問う

藤原新町長の 5つの約束を問う

検討を進めます

質問

①学校給食の完全無償化の実現は。

②中心市街地に高齢者のたまり場の整備とは。

③多くの農家が参入できる仕組みづくりの整備とは。

町長

①現在、給食費半額補助を行っており、約1700万円を補助しています。入学祝金など様々な施策を行っているため、財源等について検討していきます。

②これまでもいくつかの「サロン」があり、また、中丁「フアンズ」の2階に「NPO法人ちゃばたけ」が交流の場として進出予定です。

③令和7年度までに震災前の72

部の農地で営農が再開される見込みですので、就農希望者、移住希望者にスムーズに農地、空き家などを提供できる環境整備を進めます。

長引く新型コロナウイルス 感染症について

適時適切な対応に
努めます

質問

①高齢者へのワクチン接種の順序は。

②コロナ患者の後遺症について

町長

①国でのワクチン確保と配布の状況により実施されますので、町内医療機関との連携を進めます。

教育長

和式から洋式の改修の予定は。

質問

昨年8月においの対策を実施し、12月以降

教育長

これまで、男子トイレに換気扇の設置と自動洗浄小便器への改修を行っています。各階男女トイレの各1器ずつが洋式化されていますので、今後もトイレ環境の改善に努めます。

②町内だけでなく、県北地域においても相談はなく、後遺症事態は国が調査中です。

③生活保護受給者の推移からは、コロナによる生活困窮の状況は把握できませんので、引き続き、社会福祉協議会と連携して対応していきます。

中学校の トイレ改修は

環境改善に努めます

2・13福島県沖 地震への支援は

検討していきます

質問

地震被害者の支援はできないのか。

町長

3月4日時点で罹災証明70件、被災証明30件の申請を受けており、被害は壁面クロスの損傷、瓦屋根の崩落、建具のずれなどです。過去の支援策等と参照しながら、支援策を検討していきます。



瓦屋根に被害を受けた民家

はす ぬま ひろ し

蓮沼洋志 議員



さく た よし てる

作田善輝 議員

新町長の施政方針は

方針を示し、着実な事業執行に努めます

質問

①町長選挙で何を訴え、その反応をどのようにとらえているのか。

②これまで進めてきた各種施設整備計画は見直すのか。

③行政と議会のあり方についての考えは。

町長

①「5つの約束」を訴え、多くの町民から支持を得られたと考えています。職員とともに課題解決に知恵を出し、汗をかいて着実に事業を進めていきます。

②中央公民館、認定こども園、町火葬場の大規模改修、整備等については、まちづくりの中心となる重要な施策と考えています。ただし、その方針や方法、時期などの詳細は、見直しも含めて検討し、今後、お示しします。

③執行機関である行政から提案のあった事件に対し、住民意思を決定する機関が議会ですので、相互にけん制しあいながら、緊張感を持って地方自治の適切な運営を図っていきます。

AED(自動対外式除細動器)の設置は

適切な設置場所を検討します

質問

①町内のAEDの設置、管理状況は。

②これまでの利用実績は。

③いざというとき、いつでも誰

住民への

情報提供は

情報が滞ることがないよう努めます

質問

①避難者に情報提供はされているのか。

②住民票をおかずに町に住む人への対応は。

③情報提供することで町づくりを進める考えは。

町長

でも使える場所にあるのか。

①「防災マップ」に設置場所が掲載されており、管理はそれぞれの施設で行っています。

②公共施設での実績では、令和元年12月に「いきいき荘」で利用者が倒れ、職員がAEDを使用した1件です。

③管理上の理由から施設の内部に設置されていることが多くなっていますが、今後、調査研究をし、施設の外側への設置等も検討していきます。



中央公民館に設置されているAED（1階と3階に設置）

町長

①町から他市町村に避難されている方には、広報誌を送付するなど情報提供に努めています。

②町内に避難されている方には、避難元自治体や行政区等と連携し、両方の広報誌等が届くよう、連携を図っています。

③町に避難されている方への行政情報は大切なことだと認識しています。

まちの課題を問う

藤原町長の公約について

信頼の醸成と子どもファーストな町づくりを進めます

質問

①「顔の見えるやさしいまちづくり」とは、どのような町づくりなのか。

②「5つの約束」で、①少子高齢化、過疎化について、どう考

えているのか。②新型コロナウイルスで、医療、福祉関係者の自主検査に対し補助する考えはないのか。③学校給食を独居老人の食事支援に活用できないか。④地域おこし協力隊、Uターン施策がいずれも厳しい状況だが秘策はあるのか。⑤中央公園の小手姫像を観光資源として移設できないか。

町長

①「顔の見える」とは、私と町民、町職員と町民が対話を通じ、信頼関係を構築し、ともにまちづくりを進めていく、「やさしいまちづくり」とは、子どもたちが生まれ育つてよかったと思えるような、子どもファーストなまちづくりを進めるといふ考えです。

②①きめ細やかな移住、定住の

政策をつくり、交流事業などを通じて、もう一度来てみたい、最後は住んでみたい、というような対策に取り組んでいこうと思います。②先進事例等を研究し検討していきます。③社会福祉協議会と民間でサービスを提供しており、改善について協議しています。④移住・定住施策を7月ごろに策定します。⑤費用面の課題について検討します。

人口減少対策の計画は妥当か

適切な目標を設定し、進行管理に努めます

質問

①人口減少対策のため計画である第一期まち・ひと・しごと総合戦略について、目標指標の達成度の検証が「不可」なものがある理由は。

②第二期戦略（案）に掲げる各施策及び重要業績評価指標（KPI）の目標値の設定は適切か。

③第二期総合戦略（案）に対するパブリックコメント（町民意見）の募集方法は適切か。

④第二期総合戦略（案）の目標達成率はあるのか。

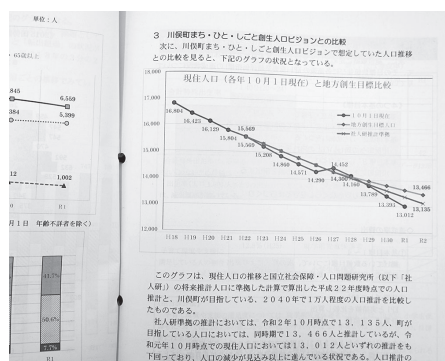
町長

①計画を立てる段階で設定していた目標値が、検証をする時点で、目標と定めた数値を入手できなかったため、測ることができなかったためです。十分に反省していかなければならないと認識しています。

②4つの基本目標と、それぞれに基本的方向を定め、施策ごとにKPIを設定しています。目標値は、諮問機関「川俣町地方創生推進会議」の意見を踏まえたもので、適切であると考えています。

③町で定めた手順に従って実施しており、問題はないと考えています。

④令和2年度時点で確認できる数値を基準値として、計画最終年である令和7年度の数値を設定しており、達成度を把握することが可能です。



町の人口対策をまとめた計画書



かん の しん いち

菅野信一 議員



たか はし きよ み

高橋清美 議員

選挙公約「5つの約束」の 取り組みは

検討のうえ
実施していきます

質問

5つの選挙公約にどう取り組みむのか。

①新型コロナウイルス感染症対策と営業補償の充実

②子育て支援の更なる充実

③農林業・商工業への支援の充実と強化

④復興事業の総点検と新たな復興計画の推進

⑤観光事業の充実と発展

町長

①引き続き、新生活様式の取り組み推進と、国に持続化給付金の再度給付を要請するなどしていきます。

②財源や、他施策との関連を考慮のうえ、学校給食費の完全無償化について検討を重ねていきます。



85歳以上の方から順次ワクチン接種が開始

③新規就農する若者の受け入れと育成、民間地元企業と連携した先端技術の活用、外部人材の活用などで活性化を図ります。

④交流人口の拡大、移住定住の促進、地域おこし協力隊の受け入れなどの方向性のもと進めていきます。

⑤ラインアップの活用等のほか、先進事例を参考に本町にふさわしい観光振興を検討します。

原発事故から10年を迎えて
今後の復興とまちづくりは

信頼の醸成と子どもファーストな
町づくりを進めます

質問

「顔の見えるやさしい町づくり」のため、今後どう進めていくのか。

今回の地震の

被害状況とその対応は

支援策を検討します

質問

震度6弱の地震があったが、町の施設、個人の被害とその対応は。

町長

(※11月の被害状況をご覧ください。)被害があった施設等については、緊急性の高いものを補正予算で計上しており、残り箇所についても修繕・修理を進めます。個人への対応については、今後検討していきます。

町長

「顔の見える」とは、私と町民、町職員と町民が対話を通じ、信頼関係を構築し、ともにまちづくりを進めていく、「やさしいまちづくり」とは、子どもたちが生まれ育つてよかったと思えるような、子どもファーストなまちづくりを進めるという考えです。

川俣町防災会議の
実態は

審議機関として
開催しています

質問

この2年で何回会議しその内容と委員のメンバーは。

町長

令和2年2月に防災計画の修正について審議していただいています。メンバーは、会長が町長で、委員に、国、県職員、教育長、町消防団長のほか、消防署、郵便局、NTT、東北電力、福島交通、福島民友などの公共機関等から選出いただいています。

まちの課題を問う



にい ぜき ぜん ぞう

新 関 善 三 議員



※4月時点でクーポンは送付済、5月10日から接種開始

新型コロナウイルス感染症対策と支援給付金対応は 協議し対応していきます

質問

- ① ワクチンの接種時期、クーポン発送はいつか。
- ② 実施手順とコールセンター開所は。高齢者対策は。
- ③ 住民票の有無と地区外居住者への対応は万全か。

町長

- ④ 事後対策をどう対応するのか。
- ⑤ 支援給付金の実態と進捗状況は。

① 国からの指示に基づき、速やかに発送できるよう準備します。

② 初めに「クーポン券」「予診票」「案内の書類」を同封して発送します。その後、コールセンター等で予約を受け付け、予約日に集団接種または個別会場で接種します。

③ 住民票のある市町村が原則ですが、やむを得ない事情のある方は、居住地で接種が受けられます。

④ 接種後、会場に30分程度待機していただき、健康観察を行います。

⑤ 飲食店、小売業社143社に

最大20万円、合計4310万円、小規模建設・製造業者71社に最大50万円、合計1190万円を給付済みで、今後は、商工業、医療関係事業者389社に規模に応じて一律20万円または30万円、合計8150万円の給付を予定しています。

「変えよう川俣」の 取り組みは

対話と協調を重視し
進めます

質問

基本的構想は。何をどこから変えるのか。

町長

住民、議会の皆様、職員と一体となって「住んでいる人が幸せを感じながら住み続けられる川俣町」「訪れた人が住みたくなるような川俣町」を目指して全力で町政運営にまい進します。

少子高齢化対策の 実態は

出合いの場の確保等に
努めます

質問

① 出生率、婚姻届の件数と推移は。

② 適齢期年代の構成の実態と、出合いを促す対策は取られているのか。

町長

① 合計特殊出生率については、平成20～24年で1.40人、平成25年～29年で1.38人で、0.2ポイント減少しています。婚姻届は、平成30年が30件、令和元年が34件、令和2年が27件です。

② 10歳代は951人、20歳代は935人、30歳代は992人、40歳代は1459人、50歳代は1483人ですが、適齢期についてはそれぞれの考え方と思います。出合いの場については、公民館事業で実施しているほか、県の結婚・子育て応援センターを紹介しています。

一般質問



やま が けい こ

山家恵子 議員

養蚕文化を伝える教育プランを

各校でチャレンジしていきます

質問

①養蚕文化の継承と命の大切さを学び育む教育を行っているかどうか。

②おりもの展示館の利用状況と今後の活用は。

③シルクプランの取り組みは。

町長

①富田小のほか、各校で学習を行っています。また、民間企業が「ふくしま養蚕体験セット」を各校に配布しており、活用しています。

②令和2年度の入館者は、1万人を超える見込みです。町内園児、児童の体験だけでなく、観光資源としても活用を図っていきます。

③子どもたちが自ら判断し、粘り強くチャレンジする姿を具

目標として定め、今後はSDGs、外国語教育なども組み入れていきます。

前田遺跡の取り組みは

調査研究します

質問

①史跡指定への取り組み状況は怎么样了っているのか。

②今後の利活用について、具体的な方針はあるのか。



国史級と言われる前田遺跡

教育長

①文化庁、県文化財課の指導のもと取り組んでいきます。

②現時点では、遺跡の一部が発掘されただけです。全体像が見えた段階で、方針を定めていきます。

生活困窮者支援と「断らない」相談支援は

丁寧な相談体制づくりを進めます

質問

①生活困窮者に対する取り組み状況は。

②包括的支援体制の整備、取り組み状況は。

③地域住民の様々な悩みに包括的に対応する「断らない」相談支援に、町としても取り組むべきではないか。

町長

①②保健福祉課のほか、地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携し相談体制を拡充しています。

③相談が多岐にわたるため、丁寧な相談に、関係機関連携のうえ対応しています。令和4年度に正式な事業化に向け取り組んでいきます。

東北宇宙ミッションの広報と今後の活用は

式典等の開催を検討します



中央公園で咲いた宇宙桜

質問

ミッションの動画が配信されるが、広報は。また、関係した宇宙飛行士を招いて交流イベントを開催してはどうか。

町長

3月11日に、町のシルクを使い福田小児童が仕立てた横断幕の前で、野口聡一宇宙飛行士が復興支援に感謝するメッセージを宇宙ステーション内で読み上げる動画が配信され、報道されました。横断幕は7月以降に町に戻りますので、式典等の開催を検討します。

まちの課題を問う

コロナウイルス感染症 対策の拡充を

必要に応じて
検討していきます

質問

① ワクチン接種と並行してPCR検査等、社会的検査を拡充する考えははるか。
② ワクチン接種の時期、見通しと体制の構築は。
③ 中小事業者への支援の再検討はあるのか。

町長

① 医療機関と相談するなどして検討していきます。
② (※新関善三議員のページをご覧ください)
③ 3月1日から小規模な工商業者、医療・福祉関係事業所への給付を開始しており、その他については、今後の状況を踏まえ、必要性に応じて検討していきます。

子育て世代の 負担軽減は

財源の検討を図ります

質問

① 学校給食を無償化する考えは。
② 国保加入者の子どもへの均等割を免除する考えは。
③ 地域の児童遊園施設の整備更新をすべきと考えるが。

教育長

① 給食費半額の補助のほか、医療費無償化、入学祝金などを実施しており、財政負担が課題です。安定的な財源の確保について、検討を進めていきます。
② 安定的な国保事業の運営のためには、国の責任と負担で実施すべきであり、就学前児童の均等割り分を国が負担するよう法改正が行われる見通しです。

町長

② 安定的な国保事業の運営のためには、国の責任



いし かわ

石河ルイ 議員

③ 遊具の経年劣化が進み、存続の意向調査を実施して、更新、撤去の判断をしていきます。



小島、御霊神社前の公園

高齢者に寄り添った 福祉サービスを

現状の施策に
ご理解をお願いします

質問

① 介護保険料が令和3年度改定になり、川俣町は高くなる見通しだが、保険料の軽減を検討すべきでないか。

福島県沖地震の 被害対応は

調査し、
支援を検討します

質問

① 住宅被害の状況と改修支援策は。
② 農業、商工業の被害状況は。
③ 道路、山林の被害状況と対策は。

町長

(※11ページのほか、蓮沼洋志議員、高橋清美議員のページをご覧ください。)

② 敬老祝金を手渡しに戻し、顔の見える活動を再検討すべきでないか。

町長

① 非課税世帯等には軽減措置があります。保険料が高くならないよう、予防事業等に努めていきます。
② 手渡しに伴うトラブル防止と民生委員の方の負担軽減も兼ねた措置ですのでご理解願います。

町民の声

私のひと言



風力発電の 行方

山木屋
吉村雅夫さん

山木屋地区に風力発電の話が舞い込んできた。

私が住む行政区では、居住者の9割近くが、当行政区に影響を及ぼす様な場所への風車建設に反対しており、その旨を町長に伝えた。

建設予定地が近すぎて、騒音・環境被害のリスクが高いことが主たる反対理由である。「原発災害を乗り越えて、ようやく安住の地に戻ってきたのに、また怯えて暮らす事なんぞコリゴリ。」という方が多い。

一方、他の行政区には、賛成の方々もおられるようだ。所有する山が有効活用できれば良い。ポスト原発の一手段として有効だ。町財政の一助になる。一などが賛成理由だろう。

一方が正で、他方が誤りという話ではない。どちらも自身を取り巻く環境・事情から考えれば、正しいに違いない。私も大きな関心を持って何度か議会を傍聴してきた。難しい問題だが、町として行政の調整力に期待したい。

また、環境や健康被害の不安から風車の設置基準も定めて頂きたい。

そして議会では、住民の代表機関として妥当性をチェック願いたい。

これまで山木屋地区は、産廃・原発被害と痛い目にあってきた。もう二度と人災には遭いたくないし、怯えたくもないと私自身は思っている。

“オンライン研修”活用しています!

広報編集常任委員会

コロナ禍で所管事務調査が困難な状況が続いていますが、議会（委員会活動）でも、オンライン動画を視聴するなど、工夫して研修活動を行っています。

1月19日には広報編集常任委員会で、全国町村議会議長会のオンライン研修会を受講しました。

議会改革等調査特別委員会でも、先進議会が公開している中継録画を活用して調査活動を行っています。（10頁に掲載）

デジタル化など、新たな時代に対応できるよう、調査・研修活動を行っています。



「議会広報の企画と編集」などについて学びました

1年越しに聖火リレーが走る

3月26日、コロナ禍で延期された東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが、山木屋地区で行われました。議員は自主参加とし、沿道から応援しました。



コンフルエンシアの皆さんと ※議長は公務参加、ほか作田議員が参加しました

編集後記

東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故から10年となる今年、2月14日に行われた町長選挙で、藤原一二氏が多くの町民の支持を受け、新町長に当選されました。

藤原町長は、「5つの約束」を公約に掲げ、実現するとしています。その内容や工程を明らかにしていくのが、議会の努めと考えますので、議論の内容などは、議会だよりでお知らせしてまいります。町民の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

また、ご意見等がありましたら、広報編集常任委員会までお寄せくださいますようお願いいたします。

（村上源吉議員）

◇広報編集常任委員会

議長	高橋道也
委員	村上源吉
副委員長	菅野清一
委員	佐藤喜三郎
委員	作田善輝
委員	山家恵子